

---

平成 30 年度  
経済産業省・資源エネルギー庁 公募型  
「原子力の安全性向上を担う人材の育成事業」  
採択テーマ

---

最新の社会心理学的知見を取り  
入れたリスク・コミュニケーター  
の育成研修（原子力関係熟練者）

## 受講者募集案内

平成 30 年 11 月

公益財団法人 原子力安全技術センター

平成 30 年 4 月に、経済産業省資源エネルギー庁の「平成 30 年度原子力の安全性向上を担う人材の育成事業」の公募において、公益財団法人原子力安全技術センターが採択されたものです。

本事業は「軽水炉安全技術・人材ロードマップ（平成 29 年 3 月改訂）」及び「原子力の自主的安全性向上の取組の改善に向けた提言（平成 27 年 5 月）」に基づいて遂行されるもので、人材育成のニーズの一つとして「リスク分析やリスク管理及び外部ステークホルダーとの原子力災害を想定したリスク・コミュニケーションを実施する能力を備えた人材の育成」が求められており、当センターはその一環として「最新の社会心理学的知見を取り入れたリスク・コミュニケーターの育成研修（原子力関係熟練者）」を実施するものです。

## 1. 目的

福島第一原発事故を踏まえて拡大された原子力災害対策重点区域に、新たに含まれることになった地域住民等（以下「外部ステークホルダー」という。）とのシビアアクシデントを想定したリスク・コミュニケーションに関わっているか、これから関わろうとしている原子力関係熟練者を対象に、リスク・コミュニケーションに必要なカリキュラムを作成し、研修を実施することにより、その能力を備えた人材を育成することを目的とします。

## 2. 本研修の概要

(1) 受講料：無料

(2) 重点項目

- ① 福島第一原発事故の経験と教訓（原子力防災の観点）
- ② 低線量放射線被ばくと健康影響（放射線生物学の観点）
- ③ 低線量放射線被ばくに対するリスク認知（社会心理学の観点）
- ④ ラポール（信頼）の形成法（臨床心理学の観点）

(3) 対象者

リスク・コミュニケーションに関わっているか、これから関わろうとしている原子力関係熟練者

- ・自治体や電力、メーカー等の職員及び OB、OG の方
- ・原子力防災業務関係者及び OB、OG の方
- ・自治体放射線相談員及び OB、OG の方
- ・実動機関職員（警察、消防、海保、自衛隊）及び OB、OG の方
- ・医療関係者（診療放射線技師を含む）及び OB、OG の方
- ・大学や研究所関係者及び OB、OG の方
- ・日本原子力学会、日本保健物理学会、日本放射線影響学会、日本リスク研究学会などの学会員及び OB、OG の方

リピーターも歓迎します。

(4) 受講レベル

原子力や放射線の基礎的知識を有していることを前提とした研修です。

(5) 定員

20 名程度／各回

(6) カリキュラム

別添 1 に「研修カリキュラム」を示します。

(7) 開催場所（計5回開催）

回数	開催日	会場	申込締切日
第1回	H30年11月28日(水)	福井県敦賀市東洋町1番1号 プラザ萬象 小ホール	11月20日(火)
第2回	H30年11月29日(木)	福井県敦賀市東洋町1番1号 プラザ萬象 小ホール	11月20日(火)
第3回	H30年12月10日(月)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 4階会議室	12月3日(月)
第4回	H30年12月20日(木)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 5階会議室	12月14日(金)
第5回	H30年12月21日(金)	東京都文京区白山五丁目1番 3-101 東京富山会館ビル 原子力安全技術センター 5階会議室	12月14日(金)

※ご都合のよい日をお選びください。

(8) その他

- ・当センターから、旅費の支給はございません。
- ・昼食は各自でご用意頂くか、近隣の施設をご利用ください。
- ・乗用車をご利用になる場合は、各自で駐車場の確保をお願いします。

3. 受講申込要領

(1) 申込締切り 2. (7)開催場所の申込締切日を参照ください。

(2) 申込方法

別添2の申込票に必要事項を記入の上、4. 項の宛先に電子メール（またはFAX）で送付してください。申込が決定した場合、折り返し決定のご通知を返信いたします。

なお、申込多数の場合、定員の範囲内で申込者の調整をさせて頂く場合がありますので、ご了承願います。

4. 申込先、問合せ先

研修の申し込み、お問合せは、下記にお願いいたします。

<p>申込先、問合せ先 公益財団法人原子力安全技術センター 原子力防災部 防災研修グループ</p> <p>電子メール : kensyu-uketsuke@nustec.or.jp 電 話 : 03-3814-6921 (受付時間: 9:30~17:30) F A X : 03-3814-6961</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 平成30年度 リスク・コミュニケーター研修 カリキュラム

時間	カリキュラム No.	区分	項目	内容
09:30～ 10:00 (計30分)		合同	開講	開講、アンケート記入、イントロダクション
10:00～ 10:30 (計30分)	1	合同 講義	福島第一原発事故の 経験と教訓	原子力防災 ・福島第一原発事故の概要（事象の進展） ・福島第一原発事故における防災上の問題点と教訓 ・福島県の被災者の現状と復興への課題
10:30～ 10:40 (計10分)			休憩	
10:40～ 12:00 (計80分)	2	合同 講義	低線量放射線被ばく と健康影響	放射線生物学 ・放射線健康影響の基礎（復習） ・少し専門的な低線量放射線生物学 ・放射線疫学の基礎と、最新のトピック ・がんのゲノムに残された放射線の爪痕
12:00～ 13:00 (計60分)			お昼休み	
13:00～ 14:00 (計60分)	3	合同 講義	低線量放射線被ばく に対するリスク認知	社会心理学 ・リスク認知とは ・リスク認知研究 ・リスク・コミュニケーションに向けて
14:00～ 14:10 (計10分)			休憩	
14:10～ 15:30 (計80分)	4	合同 講義	ラポール（信頼）の 形成法とリスク・コ ミュニケーション	臨床心理学 ・リスク・コミュニケーションとは何か ・ラポールを形成するための話の聴き方（傾聴） ・グループワーク ～その1 ・振り返りの進め方 ・グループワーク ～その2 ・上手な傾聴の仕方
		合同 演習	グループ・ワーク	
15:30～ 16:00 (計30分)		合同	閉講	総括質疑、アンケート記入、閉講

※カリキュラムは、一部変更になることがあります。

講師のご紹介（敬称略・順不同）

○イントロダクションと講義 1（原子力防災の観点）

- ・阿部 勝彦：公益財団法人原子力安全技術センター企画総務部参事
- ・石井 忠：公益財団法人原子力安全技術センター企画総務部参事
- ・世木田邦生：公益財団法人原子力安全技術センター原子力防災部主幹

○講義 2（放射線生物学の観点）

- ・柿沼志津子：放射線医学総合研究所放射線影響研究部長
- ・今岡 達彦：放射線医学総合研究所放射線影響研究部幹細胞発がん研究チームリーダー

○講義 3（社会心理学の観点）

- ・井出野 尚：徳山大学経済学部准教授
- ・玉利 祐樹：静岡県立大学経営情報学部経営情報イノベーション研究科講師

○講義 4（臨床心理学の観点）とグループワーク

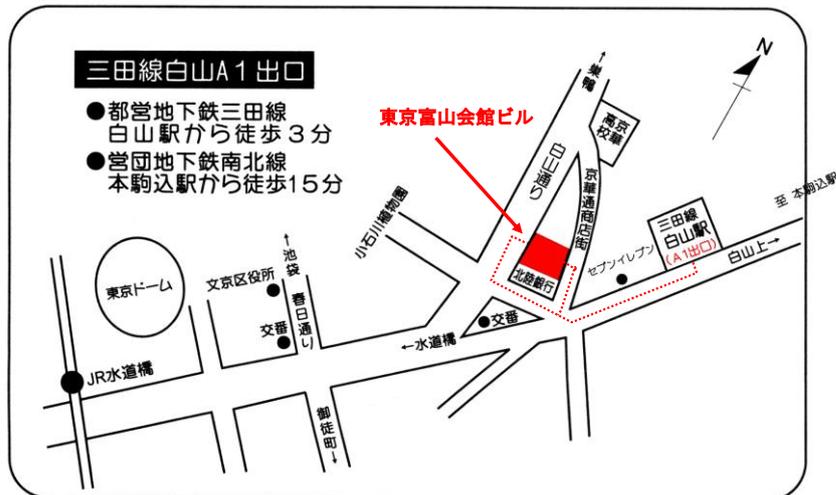
- ・岡田 昌毅：筑波大学人間系（心理学域）教授
- ・大塚 泰正：筑波大学人間系（心理学域）准教授
- ・原 恵子：筑波大学人間系（心理学域）准教授

会場地図

- ・プラザ萬象（敦賀市） 敦賀駅より徒歩 8 分



- ・原子力安全技術センター（東京）



以上